

首都圏中央連絡自動車道 菖蒲PA多機能トイレの概要

平成27年10月31日(土)に圏央道の桶川北本IC～白岡菖蒲IC間(延長10.8km)が菖蒲PAとともに開通致しました。

菖蒲PAは、東北道向き(外回り)、関越道向き(内回り)からアクセスできる内回り・外回り兼用の休憩施設となっており、トイレは、内回り・外回り双方の駐車場から利用できる配置になっています。

トイレ棟前面には、男女のトイレ入り口の他、車イスをご利用されるお客様、おからだの不自由なお客様、乳幼児をお連れのお客様等、様々なお客様がご利用できるよう、利便性に配慮した多目的トイレを左右2箇所に整備しています。



●菖蒲PA全景(イメージ)



●トイレ棟前面

■多目的トイレの概要



●全体の様子



●便器付近の様子



●非常警報装置



●便座クリーナー

■スペース

車イスでの方向転換を可能にするため、十分なスペースを確保しています。

■カーテン

介護者とのプライバシーを考慮して内部にカーテンを取り付けています。

■可動式手すり

車イスから便器への移乗を考慮し、手すりが支障にならないよう、十分な強度を持った可動式手すりを採用しています。

■非常警報装置

多目的トイレを利用中に非常通報が可能な非常警報装置を備えています。

便座に腰掛けた状態とは別に、万が一、床に転倒した状態でも使用できるよう、低位置に設置しています。

■付属器具

車イスから利用しやすいペーパーホルダー、各種操作ボタンの配置に配慮しています。

また、オストメイト対応器具として、小型手洗い器を、便座クリーナーや小児用補助便座も備えています。

■多目的棚(簡易ベッド)

重度障がいをお持ちのお客様のおむつ替え等ができるよう、折りたたみ式の簡易ベッドを備えています。